



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 新家工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7305 URL <https://www.araya-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 智司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜田 哲洋

TEL 06-6253-0221

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,621	2.3	561	41.1	650	39.5	368	44.0
2019年3月期第2四半期	21,112	10.7	952	12.3	1,075	10.0	659	20.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 262百万円 (58.6%) 2019年3月期第2四半期 632百万円 (48.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	66.23	
2019年3月期第2四半期	119.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	47,051	25,146	50.2
2019年3月期	46,369	25,246	51.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 23,611百万円 2019年3月期 23,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		65.00	65.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	0.6	1,900	7.9	2,000	10.6	1,200	20.2	215.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	6,045,326 株	2019年3月期	6,045,326 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	474,314 株	2019年3月期	474,166 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	5,571,307 株	2019年3月期2Q	5,527,141 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦などにより輸出を中心に弱さがみられたものの、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。

このような情勢のもと、鋼管業界におきましては、原材料価格の上昇や人手不足を背景とした輸送費などのコストの上昇もみられるなか、貿易摩擦に伴う中国経済の減速等による先安感から、需要は弱含み傾向となりました。また、消費税増税に伴う駆け込み需要については大きな動きはほとんどありませんでした。

普通鋼製品につきましては、原材料価格の上昇に伴う販売価格の是正は厳しい状況にあるものの、首都圏を中心とした物流倉庫等の建築関連は堅調に推移しました。

ステンレス鋼製品につきましては、ステンレス鋼の原料であるニッケル価格は高騰しており、収益改善が急務な状況にあります。このような中、食品・飲料、製薬・医療、水処理関連向や鉄道車両向等は堅調に推移しました。

当社グループといたしましては、景気の先行きが懸念される中で、製品の安定供給に努め、主力の鋼管関連事業を中心に様々な顧客ニーズに柔軟かつ迅速な対応を図るよう積極的な営業展開を実施すると共に、設備稼働率の向上とコスト削減に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,621百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益561百万円（前年同期比41.1%減）、経常利益650百万円（前年同期比39.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は368百万円（前年同期比44.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は47,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ681百万円増加しました。流動資産は28,586百万円となり1,308百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1,217百万円であります。固定資産は18,464百万円となり1,989百万円の増加となりました。これは主に、建物（純額）の増加2,950百万円と有形固定資産のその他（純額）（建設仮勘定）の減少842百万円、投資有価証券の減少292百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は21,904百万円となり、前連結会計年度末に比べ781百万円増加しました。流動負債は18,551百万円となり1,064百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加1,600百万円、その他（未払金）の増加1,193百万円と支払手形及び買掛金の減少2,296百万円であります。固定負債は3,352百万円となり283百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少250百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は25,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少206百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、8,433百万円となり、前連結会計年度末より380百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は567百万円（前年同四半期は1,369百万円の資金の増加）となりました。これは主に、売上債権の増減額が827百万円の資金増加から1,849百万円の資金増加になったものの、税金等調整前四半期純利益が368百万円減少したことや仕入債務の増減額が36百万円の資金増加から1,449百万円の資金減少になったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は1,156百万円（前年同四半期は495百万円の資金の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が663百万円増加したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は970百万円（前年同四半期は332百万円の資金の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額が52百万円の資金増加から1,604百万円の資金増加になったことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦による中国経済の減速など海外経済の下振れリスクが懸念され、国内では台風や豪雨などの相次ぐ自然災害の発生や消費税増税による個人消費動向への影響など、日本経済の先行き不透明感は強まっております。

鋼管業界におきましては、首都圏を中心とした大規模再開発、物流倉庫の新設、設備の老朽化や人材不足に伴う合理化・省力化のための設備投資等により、鋼管製品の販売は底堅く推移するものと予想されます。

また、連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「平成31年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,052	8,433
受取手形及び売掛金	10,582	9,365
電子記録債権	3,737	3,104
商品及び製品	5,317	5,523
仕掛品	484	393
原材料及び貯蔵品	1,425	1,532
その他	435	353
貸倒引当金	△140	△119
流動資産合計	29,895	28,586
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,771	4,722
土地	4,636	4,635
その他（純額）	3,470	2,830
有形固定資産合計	9,879	12,188
無形固定資産	55	87
投資その他の資産		
投資有価証券	6,069	5,777
その他	481	411
貸倒引当金	△11	△0
投資その他の資産合計	6,539	6,188
固定資産合計	16,474	18,464
資産合計	46,369	47,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,454	8,158
電子記録債務	529	1,381
短期借入金	3,368	4,968
未払法人税等	197	122
賞与引当金	419	419
事業構造改善引当金	475	253
災害損失引当金	17	3
その他	2,024	3,244
流動負債合計	17,486	18,551
固定負債		
長期借入金	850	600
役員退職慰労引当金	29	35
環境対策引当金	19	19
退職給付に係る負債	2,061	1,958
資産除去債務	7	7
その他	667	732
固定負債合計	3,636	3,352
負債合計	21,122	21,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	4,171	4,171
利益剰余金	15,091	15,098
自己株式	△694	△694
株主資本合計	22,509	22,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,168	1,961
為替換算調整勘定	△510	△513
退職給付に係る調整累計額	△395	△353
その他の包括利益累計額合計	1,263	1,095
非支配株主持分	1,474	1,535
純資産合計	25,246	25,146
負債純資産合計	46,369	47,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	21,112	20,621
売上原価	17,342	17,136
売上総利益	3,770	3,485
販売費及び一般管理費	2,817	2,924
営業利益	952	561
営業外収益		
受取利息	7	3
受取配当金	98	100
仕入割引	13	12
為替差益	24	—
その他	29	38
営業外収益合計	173	154
営業外費用		
支払利息	18	14
売上割引	15	14
為替差損	—	17
その他	16	18
営業外費用合計	50	65
経常利益	1,075	650
特別利益		
固定資産売却益	0	2
段階取得に係る差益	28	—
特別利益合計	29	2
特別損失		
災害による損失	100	16
固定資産除却損	4	4
特別損失合計	104	21
税金等調整前四半期純利益	999	631
法人税、住民税及び事業税	214	78
法人税等調整額	38	121
法人税等合計	253	200
四半期純利益	746	430
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	659	368

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	746	430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△207
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△128	△3
退職給付に係る調整額	44	41
その他の包括利益合計	△113	△168
四半期包括利益	632	262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	556	200
非支配株主に係る四半期包括利益	75	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	999	631
減価償却費	226	268
固定資産除却損	4	4
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△2
のれん償却額	43	—
災害による損失	100	16
段階取得に係る差損益 (△は益)	△28	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△32
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△65	△43
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△0	5
受取利息及び受取配当金	△106	△103
支払利息	18	14
売上債権の増減額 (△は増加)	827	1,849
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△534	△231
仕入債務の増減額 (△は減少)	36	△1,449
その他	△60	△336
小計	1,454	591
利息及び配当金の受取額	106	103
利息の支払額	△17	△16
法人税等の支払額	△191	△210
法人税等の還付額	18	99
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,369	567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△106	△6
投資有価証券の償還による収入	100	—
有形固定資産の取得による支出	△489	△1,152
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△4	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	4	—
貸付けによる支出	△11	△11
貸付金の回収による収入	11	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△495	△1,156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	52	1,604
長期借入れによる収入	—	600
長期借入金の返済による支出	—	△850
リース債務の返済による支出	△20	△22
配当金の支払額	△358	△361
自己株式の取得による支出	△5	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332	970
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	503	380
現金及び現金同等物の期首残高	8,396	8,052
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,899	8,433

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,522	356	219	21,098	14	21,112	—	21,112
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	20,522	356	219	21,098	14	21,112	—	21,112
セグメント利益又は損失 (△)	844	△14	185	1,015	△0	1,015	△63	952

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「鋼管関連」セグメントにおいて、ステンレスパイプ工業株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが43百万円発生しております。のれんの償却額43百万円があり、のれんの未償却残高はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,103	260	250	20,615	6	20,621	—	20,621
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	20,103	260	250	20,615	6	20,621	—	20,621
セグメント利益又は損失 (△)	413	△46	211	578	1	579	△18	561

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。